

チヌ競技規則

H.31.1 改正

- 1 対戦者二名が同じカセまたは筏でセンターラインを挟み、同じ釣座の方向に並び試合を行う。
(カセの試合で釣果が上がらない場合、対戦者と仕掛けが絡む場合、釣座の裏向きも可)
- 2 試合前 両者がジャンケンを行い勝者が前半戦右側の釣座、敗者が左側の釣座としハーフタイムで左右の釣座を交代する、但し場所交代のロスタイムは認めない。
- 3 対戦者はセンターラインを挟み左右 1.8m以内を釣座とし試合を行う。
- 4 試合中 潮上の者はセンターラインを越え潮下へサシエを流しても構わない、但しサシエを流す事によりラインが絡む場合、対戦相手の邪魔にならない釣り方に変える事が望ましい。
- 5 センターラインを越えての仕掛け及びダンゴの投入は禁止、竿先もセンターラインを超える事は禁止とする。
(センターラインの反対側は、隣の試合者との中間程度まで仕掛けの遠投は可)
- 6 試合前の撒き餌及びダンゴの投入は禁止とする。
(仕掛けの底取り マーキングは可)
- 7 対象魚は チヌ及びキビレとし体長制限は無し 勝敗は総匹数で決定とする。
(同匹数の場合は、最長寸で決定)
- 8 試合中 使用する竿は1本 針も1本針としダンゴの遠投は禁止とする。
(予備竿の準備は可)
- 9 竿 リール ライン 針等の銘柄 号数は自由、但し竿は2.1m以内 スピニングリールの使用は禁止とする。
- 10 サシエ 撒き餌の添加物(配合餌)は全て自由、使用量の制限は無しとする。
- 11 対象魚は必ず自分で取り込む事、他人の助けを借り取込んだ魚は無効とする。
- 12 釣り上げた対象魚は各自スカリもしくは生簀に入れ、試合終了後指示された場所に移す事。
- 13 審判のいない試合の場合、試合終了後 対戦相手と釣果の確認を行い勝敗を決定する。
- 14 試合中は禁煙とする。
(試合前後の喫煙は可)
- 15 選手は対戦相手に失礼になる行為を慎み、審判の判定 指示に従う事。